

# 特 許 協 力 条 約

P C T

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第 12 条、法施行規則第 56 条）

〔P C T 36 条及び P C T 規則 70〕

出願人又は代理人 の書類記号 905037	今後の手続きについては、様式 P C T / I P E A / 4 1 6 を参照すること。	
国際出願番号 P C T / J P 2 0 0 5 / 0 0 2 7 5 4	国際出願日 (日. 月. 年) 2 2 . 0 2 . 2 0 0 5	優先日 (日. 月. 年) 2 7 . 0 2 . 2 0 0 4
国際特許分類 (I P C) Int.Cl. <i>G06F15/00(2006. 01)</i>		
出願人 (氏名又は名称) シャープ株式会社		

1. この報告書は、P C T 35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (P C T 36 条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で 6 ページである。  <input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙 (P C T 規則 70. 16 及び実施細則第 607 号参照)  <input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙  b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。  <input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎 <input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権 <input type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 <input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 P C T 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 <input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献 <input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備 <input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 1 5 . 1 2 . 2 0 0 5	国際予備審査報告を作成した日 2 0 . 0 6 . 2 0 0 6		
名称及びあて先 日本国特許庁 (I P E A / J P) 郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 赤穂 州一郎	5 B	3 6 5 0
	電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 4 5		

様式 P C T / I P E A / 4 0 9 (表紙) (2 0 0 5 年 4 月)

## 第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 2, 4-25 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 1, 3, 3/1 \_\_\_\_\_ ページ\*, 15, 12, 2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*, \_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*, PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 1-14 \_\_\_\_\_ 項\*, 15, 12, 2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*, \_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-32 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*, \_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*, \_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ

☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項

☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図

☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性（N）	請求の範囲 2, 3, 7-12	有
	請求の範囲 1, 4-6, 13, 14	無
進歩性（IS）	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-14	無
産業上の利用可能性（IA）	請求の範囲 1-14	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明（PCT規則70.7）

文献1：園田 誠，「Web プログラミングの基礎」日経ソフトウェア，日経BP社，2003.06.24，第6巻第7号，p. 41-43  
 文献2：JP 2004-13210 A（ミノルタ株式会社）2004.01.15，段落【0041】－【0048】  
 文献3：JP 2003-85075 A（松下電器産業株式会社）2003.03.20，段落【0056】，図15  
 文献4：JP 9-134389 A（株式会社東芝）1997.05.20，図4  
 文献5：JP 10-283153 A（東洋通信機株式会社）1998.10.23，図2，図3  
 文献6：青木秀起，XForms 入門，Java WORLD，株式会社IDG ジャパン，2003.09.01，第7巻 第9号，p. 138-148  
 文献7：JP 2004-13611 A（キヤノン株式会社），2004.01.15，段落【0066】－【0077】，図4，図8，図9

請求の範囲1，4-6，13，14

請求の範囲1，4-6，13，14に係る発明は、文献6のp. 138-148に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。文献6のp. 143-144及びリスト2，3には、データの構造や型（データ構造情報）、データ送信に関する情報（アクセス情報）、及びユーザインタフェースの表示方法（ユーザインタフェース記述データ）を記述したデータに基づいて送信用のデータを作成することが記載されている。

請求の範囲2，3

文献6の表2には、ローカル・ファイルシステムからファイルをアップロードすることが記載されているから、データをローカル・ファイルとして保存することにより他の装置に送信するデータを作成して送信するように構成することは、当業者が容易に想到し得たものである。

請求の範囲7，8

文献6のp. 145には、1つの文書中に複数のXFormsモデル（データ構造やデータ送信に関する情報）を記述することが記載されているから、複数のデータ構造情報及びアクセス情報の中から、所定のデータ構造及びアクセス情報を選択するように構成することは、当業者が容易に想到し得たものである。

請求の範囲9-11

請求の範囲9-11に係る発明は、文献7の段落【0066】－【0077】に記載された、抽出レベル及び優先度レベルに応じて、項目ごとの情報の組合わせで構成される複数の候補情報を選択可能に提示する出力処理部を、文献6記載の発明に適用することにより、当業者が容易に想到し得たものである。

## 補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

## 請求の範囲 1 2

請求の範囲 1 2 に係る発明は、文献 5 に記載された入力された履歴を記憶する技術を、文献 6 記載の発明に適用することにより、当業者が容易に想到し得たものである。

## 明 細 書

所定のアクセス方法でデータ送信を行なうことのできるデータ処理装置

## 技術分野

- [0001] この発明は、データ処理装置、データ処理プログラム、およびデータ処理プログラムを記録する記録媒体に関し、特に、データ送信を行なうデータ処理装置、処理プログラム、およびデータ処理プログラムを記録する記録媒体に関する。

## 背景技術

- [0002] 従来、複数のクライアント装置と、クライアント装置に直接またはローカルエリアネットワーク(Local Area Network: LAN)などのネットワークを介して接続されたサーバなどの処理装置とからなるシステムにおいて、クライアント装置から必要データの入力、および処理の実行を指示して、処理装置に比較的負荷が大きい処理や一元管理すべき処理を実施させている。
- [0003] このシステムにおいては、一般的には、処理装置に応じた入力フォームがクライアント装置へ配布される。クライアント装置では、入力フォームに記載されているユーザインタフェースを表示してそのユーザインタフェースに従って必要なデータが入力される。そして、入力フォームに記載されているデータ生成規則に従って送信用のデータが作成され、入力フォームに記載されている送信先および送信方法で、クライアント装置から処理装置へ送信される。
- [0004] つまり、従来のシステムでは、処理装置は、処理を実行するために必要なデータを、予め規定されたデータ構造およびデータ送信方法でクライアント装置から受け取るために、入力フォームにデータ入力のためのユーザインタフェースとデータ構造とデータ送信方法とを記載してクライアント装置に配布している。そして、クライアント装置は、その入力フォームに従ってデータを作成および送信している。
- [0005] このシステムの代表例としてWWW(World Wide Web)システムが挙げられる。WWWシステムにおいては、入力フォームに、HTML(Hyper Text Markup Language)で、表示すべきユーザインタフェース、送信先、送信方法が記述される。WWWシステムにおいては、クライアント装置は、処理装置が用意したHTMLで記載

タの入力操作を行なわねばならず、操作が煩雑であるという問題があった。

[0010] また、処理装置が規定しているデータ送信方法が異なる場合も、同様に処理装置ごとの入力フォームの操作が必要となるという問題があった。

[0011] 本発明はこのような問題に鑑みてなされたものであって、システム上の他のデータ処理装置にデータを送信して処理を実行させる際に、煩雑な操作を行なうことなく所定のアクセス方法でデータを送信することのできるデータ処理装置、処理プログラム、およびデータ処理プログラムを記録する記録媒体を提供することを目的とする。

#### 課題を解決するための手段

[0012] 上記目的を達成するために、本発明のある局面に従うと、データ処理装置は、他の装置に送信するデータのデータ構造を規定する情報を含むデータ構造情報を取得するデータ構造情報取得部と、他の装置に送信するデータを作成するために、ユーザ操作によりデータを収集するためのユーザインタフェース記述データを取得するユーザインタフェース記述データ取得部と、他の装置にデータを送信する方法と送信先との少なくとも一方を規定したアクセス情報を取得するアクセス情報取得部と、取得したユーザインタフェース記述データを処理してユーザインタフェースを出力するユーザインタフェース処理部と、ユーザインタフェース処理部により出力されたユーザインタフェースから取得したデータを、ユーザインタフェースに含まれる属性名の値として記憶する記憶部と、データ構造情報に含まれる属性名と、ユーザインタフェース記述データに含まれる属性名とをマッチングし、ユーザインタフェース記述データに基づいて取得された上記データを属性値として、データ構造情報のうちの該当する部分を上記属性値と置換して他の装置に送信するデータを作成し、アクセス情報に基づいて送信する送信データ処理部とを備える。

[0013]

[0014] 本発明の他の局面に従うと、データ処理プログラムは、他の装置にデータを送信するためのデータ処理をコンピュータに実行させるプログラムであって、他の装置に送信するデータのデータ構造を規定する情報を含むデータ構造情報を取得するデータ構造情報取得ステップと、他の装置に送信するデータを作成するために、ユーザ操作によりデータを収集するためのユーザインタフェース記述データを取得するユー

ザインタフェース記述データ取得ステップと、他の装置にデータを送信する方法と送信先との少なくとも一方を規定したアクセス情報を取得するアクセス情報取得ステップと、ユーザインタフェース記述データを処理してユーザインタフェースを出力するユーザインタフェース処理ステップと、ユーザインタフェース処理部により出力されたユーザインタフェースから取得したデータを、ユーザインタフェースに含まれる属性名の値として記憶部に格納する格納ステップと、データ構造情報に含まれる属性名と、ユーザインタフェース記述データに含まれる属性名とをマッチングし、ユーザインタフェース記述データに基づいて取得されたデータを属性値として、データ構造情報のうちの該当する部分を属性値と置換して他の装置に送信するデータを作成し、アクセス情報に基づいて送信する送信データ処理ステップとを実行させる。

本発明のさらに他の局面に従うと、記録媒体はコンピュータ読取可能な記録媒体であって、上記データ送信プログラムを記録する。

#### 図面の簡単な説明

- [0015] [図1]本実施の形態にかかるデータ通信システムの構成の具体例を示す図である。  
[図2]クライアント装置1である携帯電話1のハードウェア構成について具体例を示す図である。  
[図3]携帯電話1の記憶部130に記憶される各プログラムの構成の具体例を示す図

### 請求の範囲

- [1] (補正後)他の装置に送信するデータのデータ構造を規定する情報を含むデータ構造情報を取得するデータ構造情報取得部(1311)と、  
前記他の装置に送信するデータを作成するために、ユーザ操作によりデータを収集するためのユーザインタフェース記述データを取得するユーザインタフェース記述データ取得部(1311)と、  
前記他の装置にデータを送信する方法と送信先との少なくとも一方を規定したアクセス情報を取得するアクセス情報取得部(1311)と、  
前記ユーザインタフェース記述データを処理して前記ユーザインタフェースを出力するユーザインタフェース処理部(1312)と、  
前記ユーザインタフェース処理部により出力された前記ユーザインタフェースから取得したデータを、前記ユーザインタフェースに含まれる属性名の値として記憶する記憶部(130)と、  
前記データ構造情報に含まれる属性名と、前記ユーザインタフェース記述データに含まれる属性名とをマッチングし、前記ユーザインタフェース記述データに基づいて取得された前記データを属性値として、前記データ構造情報のうちの該当する部分を前記属性値と置換して前記他の装置に送信するデータを作成し、前記アクセス情報に基づいて送信する送信データ処理部(1314)とを備える、データ処理装置。
- [2] (補正後)前記送信データ処理部は、前記データ構造情報に含まれる属性名と、前記ユーザインタフェース記述データに含まれる属性名とをマッチングし、ユーザインタフェース記述データに基づいて取得されたデータをファイルとして保存し、そのデータを属性値として前記データ構造情報の該当部分を置換することにより、前記他の装置に送信するデータを作成して送信する、請求項1に記載のデータ処理装置。
- [3] (補正後)前記送信データ処理部は、前記データ構造情報に含まれ、かつ、前記ユーザインタフェース記述データに含まれる属性名がファイルの場合、ユーザインタフェース記述データに基づいて取得されたデータを前記属性名のファイルとして保存することにより前記他の装置に送信するデータを作成して送信する、請求項1に記載のデータ処理装置。



- [4] (補正後)前記データ構造情報取得部は、前記データ構造情報を他の装置から取得する、請求項1に記載のデータ処理装置。
- [5] (補正後)前記アクセス情報取得部は、前記アクセス情報を他の装置から取得する、請求項1に記載のデータ処理装置。
- [6] (補正後)前記ユーザインタフェース記述データ取得部は、前記ユーザインタフェース記述データを他の装置から取得する、請求項1に記載のデータ処理装置。
- [7] (補正後)前記データ構造情報取得部は複数のデータ構造情報を取得し、  
前記複数のデータ構造情報の中から、前記他の装置にデータを送信するために用いる所定のデータ構造情報を選択するデータ構造情報選択部(1314)をさらに備える、請求項1に記載のデータ処理装置。
- [8] (補正後)前記アクセス情報取得部は複数のアクセス情報を取得し、  
前記複数のアクセス情報の中から、前記他の装置にデータを送信するために用いる所定のアクセス情報を選択するアクセス情報選択部(1314)をさらに備える、請求項1に記載のデータ処理装置。
- [9] (補正後)前記記憶部に記憶される複数のデータの中から、前記他の装置に送信する所定のデータを選択する送信データ選択部(1312, 1315)をさらに備える、請求項1に記載のデータ処理装置。
- [10] (補正後)前記記憶部に記憶されるデータは、項目ごとのデータを含んで構成され、  
1つの項目に複数のデータが対応している場合、前記送信データ選択部は、前記複数のデータが対応している項目ごとに前記項目に対応した複数のデータを提示して、前記項目に対応させるデータを選択する、請求項9に記載のデータ処理装置。
- [11] (補正後)前記記憶部に記憶されるデータは、項目ごとのデータの組合わせで構成され、  
前記記憶部に前記組合わせが複数記憶される場合に、前記送信データ選択部は、前記組合わせに含まれて前記組合わせを特定できる1以上の項目ごとデータを提示して、前記他の装置に送信する所定のデータである組合わせを選択する、請求項9に記載のデータ処理装置。

- [12] (追加) 前記記憶部に記憶されるデータは、ユーザによる入力の履歴である、請求項1に記載のデータ処理装置。
- [13] (追加) 他の装置にデータを送信するためのデータ処理処理をコンピュータに実行させるプログラムであって、  
他の装置に送信するデータのデータ構造を規定する情報を含むデータ構造情報を取得するデータ構造情報取得ステップ(S11)と、  
前記他の装置に送信するデータを作成するために、ユーザ操作によりデータを収集するためのユーザインタフェース記述データを取得するユーザインタフェース記述データ取得ステップ(S11)と、  
前記他の装置にデータを送信する方法と送信先との少なくとも一方を規定したアクセス情報を取得するアクセス情報取得ステップ(S13～S15)と、  
前記ユーザインタフェース記述データを処理して前記ユーザインタフェースを出力するユーザインタフェース処理ステップ(S16)と、  
前記ユーザインタフェース処理部により出力された前記ユーザインタフェースから取得したデータを、前記ユーザインタフェースに含まれる属性名の値として記憶部に格納する格納ステップ(S32)と、  
前記データ構造情報に含まれる属性名と、前記ユーザインタフェース記述データに含まれる属性名とをマッチングし、前記ユーザインタフェース記述データに基づいて取得された前記データを属性値として、前記データ構造情報のうちの該当する部分を前記属性値と置換して前記他の装置に送信するデータを作成し、前記アクセス情報に基づいて送信する送信データ処理部(S24, S25)とを実行させる、データ処理プログラム。
- [14] (追加) 請求項13に記載のデータ処理プログラムを記録した、コンピュータ読取可能な記録媒体。